

大島まちづくり協議会

みたけニュース

10号

大島まちづくり協議会事務局
 笠岡市大島中1839-6
 TEL 090-7991-4928
 TEL/FAX 0865-67-6818
 メールアドレス oshimachi@yahoo.co.jp

ごあいさつ

大島まちづくり協議会 会長 大島 博

錦秋の候、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素から、魅力あるまちづくりの推進に格別のご理解とご支援を賜り感謝いたしております。

平成28年度は、山陽学園大学等各方面の支援により地域資源を活かした「地域力復活」を目指し、特産品の開発と販売に踏み出すことができました。

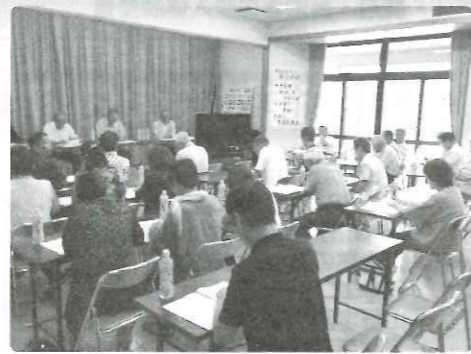
瀬戸内海国立公園の御嶽山をはじめ名所旧跡を紹介した「大島散策MAP」を使つての健勝増進と大島の再発見に訪れる交流人にも増加傾向にあります。

今年度も地域資源を活かした地域力復活事業に引き続き取り組み高齢者はもとより、誰もが安全で安心して住みつけられる地域づくりに取り組んでまいり所存であります。今後ともご支援、ご協力の程、お願い申し上げます。

平成29年度通常総会開催(まち協)

平成29年6月24日(土)に平成29年度通常総会を開催いたしました。提出された議案はすべて原案通り可決承認されました。

- 第1号議案 平成28年度事業報告及び決算報告
- 第2号議案 平成29年度事業計画及び収支予算案
- 第3号議案 顧問・相談役・理事の選任、補充について
- 第4号議案 農山漁村振興交付金「農泊の推進対策」について



平成28年度事業報告

- ①運営交付金・活動 <研修>
 - ・雲南市人間交流センター視察研修
 - ・尾道(ONOMICHI U2)視察
 - ・岡山県主催エコツアー研修会
- ②運営交付金・活動 <交流>
 - ・山陽学園オリエンテーション交流
 - ・御嶽山・青佐山トレッキング客の交流・茶屋設置・休憩所トイレ利用
 - ・よっちゃれ出演・宵祭り出店・素戔鳴神社協力支援
 - ・笠岡市健康祭参加支援(山陽学園短期大学協働)
- ③運営交付金・活動 <広報>
 - ・まち協ニュース発行...9月/毎月サロン情報発行
 - ・わくわく市・見守り喫茶 情報提供
 - ・フェイスブック・夢ネット回覧板
- ④運営交付金・活動 <特産品開発>
 - ・山陽学園大学との大島バーガー共同開発
- ⑤運営交付金A <大島地域力復活事業>
 - ・御嶽山・青佐山トレッキング客の交流・茶屋設置・休憩所トイレ利用
 - ・「故郷便り」を送付・小林市長座談会(空家対策について)
 - ・海辺の教開催・収穫祭開催
- ⑥活動交付金A <県指定重要無形文化財継承事業>
 - ・納涼の夕べ(大島公民館にて)
 - ・岡山大学留学生訪問(傘踊り披露と体験)

平成29年度事業計画

- ①運営交付金・活動 <研修>
 - ・「おいしい」大島へ行って元気になるう！」
 - ・笠岡諸島と大島が一体になり、体験ツアーのお客様の増員を図る
- ②運営交付金・活動 <交流>
 - ・特産品の開発は大島バーガーの認知度向上
 - ・予定しているエコツアーで人集めをして盛り上げて観光振興の機会を持ち地域力をあげていきたい。
- ③運営交付金・活動 <広報>
 - ・まち協ニュース:年1回
 - ・ホームページ開設
 - ・ゲストハウスを中心としたイベント等の宣伝をする
 - ・フェイスブックの更新の継続
 - ・いきいきサロンのチラシ発行
 - ・笠岡放送のコミュニティ回覧板の活用
- ④運営交付金・活動 <特産品開発>
 - ・ぶんずソフトクリームの開発
 - ・郷土料理の開発と特産化
- ⑤活動交付金A <大島地域力復活事業>
 - ・名物大島の干物開発(魚類)
 - ・名物大島の干物開発(海藻類)
 - ・イベント・ツアーの募集により近隣市町の外来者との交流の機会の増加
 - ・市街に転出された親族に郷愁を誘う事業を実施し、交流を促す
 - ・子供の交流支援を行うことにより多世代の交流に繋がり、地域の活性化を図る
 - ・新鮮魚の加工特産品(干物等)の開発拡大と郷土料理の研究等、山陽学園大学の識見を活かし、ヒト・モノの交流促進によって、美しい自然・歴史のお宝等を活かす
 - ・大島ゆかりの偉人の紹介等による名所作りへ寄与
 - ・魚市場と協働で定置網体験ツアーを実施して活性化を図る
- ⑥活動交付金B <岡山県指定重要無形民族文化財の保存と継承事業>
 - ・大島傘踊り保存会の活動を活性化

海へ帰ろう。
「渚泊」
 マリンピアおおしま

渚泊事業開始!
 農林水産省(農山村振興交付金事業農泊推進対策)
友人・親戚に紹介して下さい。
 (お盆・正月などの帰省に利用出来ます。)



体験

●大島季節行事(参加・見学)

- 春 潮干狩り
- 夏 納涼祭(大島傘踊り)
- 秋 秋穫祭
- 冬 お日待ち祭り

●海から見える絶景朝日・夕日

●市場体験見学・買付も出来る

●ハイキング(眺望の美しい御嶽山)

●釣り(防波堤から釣りが出来ます)

オプション

(要予約・別料金)

- 定置網
- バーベキュー(朝市場で買った魚と新鮮な貝を)
- 竹カゴ・ペーパークラフト教室
- 笠岡諸島クルージング

マリンピアおおしま体験ツアー協議会 運営委員会メンバー表

氏名	所属
石田 輝宏	笠岡市産業部長
江原 広一	笠岡市農政水産課長
石井 善子	笠岡市農政水産課課長補佐
重見 圭一	笠岡市定住促進センター所長
小林健一郎	笠岡市定住促進センター所長補佐
浅野 正人	大島美の浜漁業協同組合長
林 格郎	大島美の浜漁業協同組合
鈴木 修	大島美の浜漁業協同組合
大島 博	NPO法人大島まちづくり協議会理事長
浅野ツヤ子	NPO法人大島まちづくり協議会副理事長
藤井 茂	NPO法人大島まちづくり協議会理事

氏名	所属
榎田 弘香	NPO法人大島まちづくり協議会事務局長
大島 和恵	NPO法人大島まちづくり協議会事務局次長
浅野 正明	NPO法人大島まちづくり協議会副理事長
浅野 和彦	NPO法人大島まちづくり協議会副理事長
高田省一郎	NPO法人大島まちづくり協議会副理事長
黒住 修季	NPO法人大島まちづくり協議会コーディネーター
森 高一	NPO法人日本エコツーリズムセンター共同代表
大橋 和正	学校法人山陽学園山陽学園大学
古川 英巳	県立高校校長歴任者・商業農業関係
武藤 慎哉	地域おこし協力隊

NPO法人 大島まちづくり協議会

いもいもOH! SHIMA

NEWS

大島まちづくり協議会事務局
笠岡市大島中1839-6
TEL 090-7991-4928
FAX 0865-67-6818
メール oshimachi@yahoo.co.jp

農山漁村振興対策交付金(農泊推進)の取り組み

特定非営利活動法人 大島まちづくり協議会 理事長 大島 博

大島東小学校区における高齢化率は48%を超え、急激に人口が減少し、空き家が増え、地域コミュニティが崩壊する恐れがあります。

そこで、特定非営利活動法人大島まちづくり協議会は笠岡市(産業部農政水産課)と大島美の浜漁業協同組合と協同で「マリンピアおおしま体験ツアー協議会」を結成、農漁村の魅力と地域資源をフル活用し、都市部からの観光客等を誘致することによって地域の活性化を図ることにいたしました。

尚、ご利用を希望される方は、予約制としておりますので下記へご連絡ください。

第4期決算公告
貸借対照表の要旨

[税込] (単位: 円) (平成29年3月31日現在)

Table with 2 columns: 科目, 金額. Rows include 資産の部 (流動資産, 固定資産, 負債・正味財産の部) and their respective amounts.

平成29年度通常総会開催 (NPO)

平成29年6月24日(土)に平成29年度通常総会を開催いたしました。提出された議案はすべて原案通り可決承認されました。

- 第1号議案 平成28年度事業報告及び決算報告
第2号議案 平成29年度事業計画及び収支予算案
第3号議案 顧問・相談役・理事の選任、補充について

平成29年度事業計画

- 1) サロン・喫茶運営 年間利用見込者数 3,300人
2) 大島バーガー販売開始 年間販売個数見込 3,200個
3) 暮らし支援事業(通院・買物送迎・困り事援助等) 年間支援件数見込 600件
4) その他

平成29年度特定非営利活動法人大島まちづくり協議会(NPO)役員等名簿

Table with 4 columns: 役職名等, 氏名. Lists board members, officers, and staff of the NPO.

笠岡市大島中1839-6(大島海見える家)
マリンピアおおしま体験ツアー協議会 NPO法人 大島まちづくり協議会
携帯電話 090-7991-4928 TEL/FAX 0865-67-6818

渚泊推進対策: マリンピアおおしま体験ツアー事業(岡山県笠岡市)

(概要) 農漁村の魅力と地域資源をフル活用し、都市部からの観光客等を誘致する「農泊」を推進することによって、地域経済の活性化を図る。特に、漁業の構造改革、鮮魚の加工技術の導入と販売、漁業体験と6次産業化による漁業者の所得向上を促進する。

(事業主体) マリンピアおおしま体験ツアー協議会
(構成員: 笠岡市、大島美の浜漁業協同組合、NPO法人大島まちづくり協議会)

実施地区の現在の取組・状況と課題

○笠岡市大島地区の現状
瀬戸内海国立公園に面した風光明媚な漁村。若者の多くが都市圏へ流出し、過疎高齢化が急進するとともに、空き家も増加している。主産業の漁業は、漁場環境の変化や後継者不足等により漁獲高が減少し続けている。

- 現在の取組
・小学生向け定置網(つぼ網)魚の体験学習
・児童及び保護者への魚料理指導
・大学連携による特産品開発(海鮮バーガー)



定置網(つぼ網)魚の体験学習 魚料理の指導

- 課題
・漁業の6次産業化による地域活性化
・未活用となっている観光資源
・農泊・民泊等の受入体制整備

渚泊推進対策の内容

- 体制の構築
マリンピアおおしま体験ツアー協議会
-NPO法人大島まちづくり協議会
-大島美の浜漁業協同組合
-日本エコツーリズムセンター
-山陽学園大学
-笠岡市農政水産課
○耕作放棄地の活用
遊休果樹園再生事業による特産品開発、住環境の改善

地域独自の取組

- 磨き上げ
モニターツアーによる調査・分析
○人材育成
地元理解のためのワークショップ・セミナー
○地域資源を活用した交流促進
海辺の教室、モノづくり体験(廃材利用)
秋~冬の収穫イベント
○海辺の教室
小学生や保護者向けの漁業体験、魚のさばき方教室、せり市体験
○大学連携による特産品開発

期待される成果や効果

- 農泊実施組織の形成
「農泊」への地域の合意形成、住民組織との連携による空き家の活用
○漁村の魅力向上及びマーケティング
美しい環境を保全しつつ、都市圏の観光客を誘致し、地域経済を活性化
○地域漁業の構造改革
鮮魚加工技術の導入と販売、漁業体験と6次産業化による漁業所得の向上



ゲストハウスとしての空き家活用 農泊への地域合意の形成

渚泊
お問い合わせ